

# 集団的自衛権の 解釈改憲許さない！ 共産党市議団が憲法記念日街宣



5月3日の憲法記念日、日本共産党市議団は市内24カ所、街宣行動を行いました。67年目を迎えた憲法記念日は、安倍政権の暴走のもとで、大きな意義も持つものとなりました。

党市議がそれぞれ、「憲法9条を守り、戦

争する国づくりを許さないたたかいをひろげよう、集団的自衛権を容認する、解釈改憲を阻止しよう」、「憲法25条に基づいて、消費税増税、医療・介護の切り捨て、労働者法制改悪などをやめさせよう」と訴えました。

## 震災復興シンポに参加して(4)

加藤太一

災害公営住宅について、低家賃であるが、狭い、間取り制限、庭なし、立地場所による抽選でコミュニティ破壊、将来の空家化・管理問題がある。自力再建住宅では、資金の問題があるが自分の土地に自由に建託でき元のコミュニティが維持され、自己管理の下で相続されるので自力再建の支援が重要としていきます。

また、高台移転も、住民の合意形成、移転

先の地価高騰と被災地の地価下落、移転先の仕事の確保、「住職分離問題」、至る所に公園整備計画があるなど矛盾も多い。その背景には自力再建支援の弱さがあると指摘しました。

## よりよい学童保育をめざして

### 学童保育市連協が学習会



真田さんは、学校で過ごす時間より学童で過ごす時間が長いこと、「適切な遊びと生活の場」としての学童保育の役割を説明しました。

「子ども・子育て支援法」によって学童保育が市町村の実施事業となること、市町村に事業計画策定を義務付けているとし、自治体の条例制定がよりよい学童保育に結びつくようにしようとの心を込めて話しました。

学習会には市議会議員、市の担当者、学童

関係者が参加しました。

関、加藤鉦一、菅井太一議員が紹介され、加藤太一議員は主催者（県連副会長）として出席しました。



5月1日、第85回メーデー鶴岡田川地区集会が開催され、消費税増税中止、労働法制改悪反対などを盛り込んだ決議を採択しました。

鶴岡市学童保育連絡協議会は2日、鶴岡市勤労者会館で真田祐さん（全国学童保育連絡協議会事務局次長）を迎えて「国の新たな子育て政策とこれからの学童保育〜よりよい学童保育をめざして〜」と題する学習会を行いました。



# 太陽光発電 工事費17、18年で償却可

## 党市議団への相談により調査

市民から「太陽光発電の導入」について党市議団に相談があり、市建築課に調べていただきました。

補助金は現在、市と県があり国はありません。

①市政策企画課「再生可能エネルギー設備普及促進事業費補助金」：1kw当たり1万5000円（上限10kw 15万円）

②県エネルギー政策推進課「再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」：1kw当たり3万円（上限10kw 29万9000円）

工事会社からの聞き取りで、1kw当たり約45万円とのこと。屋根の造り（瓦、トタン）により、屋根裏補強の要不要等もありますが、機器資材費（太陽光パネル、同取付材、パワーコンディショナ、モニタ装置）と工事費（機器設置工事、配線等電気工事）、及び電力申請経費など諸経費も含み、概ねこの位の価格で可能とのこと。

ただし固定買取単価は、毎年変わる（年々安くなっていく）。パネルの寿命は20年程度

南に面した屋根面積による太陽光パネル設置枚数と発電容量の関係については、

①屋根面積が約72㎡（縦4m×横18m）パネル52枚で発電量10.01kw

②屋根面積が約360㎡（縦9m×横40m）パネル240枚で発電量46.2kw（最大）となります。

工事費 1kw当たり45万円

発電量による工事費の比較 (上限10kw)

発電量 (kwh)	工事費単価 (円/kwh)	概算工事費 (円)		A	
		税抜き	税抜き	補助金額 (円)	単価 (円/kwh)
5	450,000	2,250,000	45,000	225,000	405,000
10	450,000	4,500,000	44,900	449,000	405,100
20	450,000	9,000,000	44,900	449,000	427,550
30	450,000	13,500,000	44,900	449,000	435,033
40	450,000	18,000,000	44,900	449,000	438,775

工事費等は地元電気

全量自己消費した場合の効果

発電量 (kw)	年間発電量 (kwh/円)	電気料金単価 (円/kwh)	B		A÷B 費用対効果 償却年
			年間削減電気料金 (円)	費用対効果	
5	4,500	25	112,500	18.00	
10	9,000	25	225,000	18.00	
20	18,000	25	450,000	19.00	
30	27,000	25	675,000	19.33	
40	36,000	25	900,000	19.50	

①10kw未満の場合：税込37円/kwh（平成26年度から10年間固定買取単価）

②10kwを超える場合：税込34.56円/kwh（平成26年度から20年間固定買取単価）

事業所等で日曜・祭日に余剰売電した場合

発電量 (kw)	ほとんど自己消費(平日)			一部余剰売電(日曜日)			B 合計 円	A÷B 費用対効果 償却年
	消費量 (kwh)	単価 (円/kwh)	年間削減電気料金 (円/年)	売電量 (kwh)	売電単価 (円/kwh)	年間削減電気料金 (円/年)		
5	3,780	25	94,500	720	37.00	26,640	121,140	16.72
10	7,560	25	189,000	1,440	37.00	53,280	242,280	16.72
20	15,120	25	378,000	2,880	34.56	99,533	477,533	17.91
30	22,680	25	567,000	4,320	34.56	149,299	716,299	18.22
40	30,240	25	756,000	5,760	34.56	199,066	955,066	18.33

発電量10kwパネルの年間発電量試算データで、平日自己消費・休日売電の場合の発電量を計算

月	kwh/月	日	kwh/日	自己消費		売電	
				平日日数	休日日数	kwh/平日	kwh/休日
1	319	31	10.29	23	8	237	82
2	432	28	15.43	24	4	371	61
3	775	31	25.00	26	5	650	125
4	1013	30	33.77	26	4	878	135
5	1150	31	37.10	24	7	891	259
6	1038	30	34.60	25	5	865	173
7	1047	31	33.77	27	4	912	135
8	1091	31	35.19	26	5	916	175
9	794	30	26.47	26	4	689	105
10	675	31	21.77	27	4	588	87
11	385	30	12.83	25	5	321	64
12	281	31	9.06	27	4	245	36
計	9000	365		306	59	7,563	1,437
						7,560	1,440

太陽光発電設備の費用対効果の試算は表のとおりです。

実負担工事費 17、18年で償却可

太陽光発電を全量自己消費した場合、年間削減電気料金は22万5000円で、実負担工事費の償却は18年で完了します。

事業所等で休日（年間59日・16%）に余剰売電した場合は約17年で償却できます。

太陽光パネルの寿命はメーカーにより異なりますが、参考例として20年程度です。

住宅用パネルには10年保障が付きませんが、産業用パネルは別途有償メンテナンスとしてメーカーサポート契約すれば、発電出力が低下する等不具合時の対応が保証されるのとことです。

太陽光発電を全量自己消費した場合、年間削減電気料金は22万5000円で、実負担工事費の償却は18年で完了します。

市と県の補助金を最大使った場合の発電量10kwと比較すると、概算工事費450万円（税抜き）―市と県の補助金44万9000円―実負担工事費405万1000円。

建築課入札結果 ( ) 内は予定価格

5月2日入札分

- ・加茂水族館展示外構等工事監理業務委託 (株)日本設計 3,600,000円 (3,691,000円) 期間~5/20 (落札率97.5%)

---

下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格

5月1日入札分

- ・市公共下水道事業 汚水285-3号新設工事 (釜谷坂地内) 中止

---

南部建設事務室入札結果 ( ) 内は予定価格

5月1日入札分

- ・市道宮の下宝谷線防雪柵設置工事 (H25繰越) (宝谷地内) 五十嵐組 2,500,000円 (2,553,000円) 工期~8/8 (落札率97.9%)

---

土木課入札結果 ( ) 内は予定価格

5月1日入札分

- ・市道斎藤川原4号線舗装改良工事 (斎藤川原地内) 不調
- ・大西町12号線歩道設置工事 (大西町地内) 落札決定保留中 (6,149,000円) 工期~8/29
- ・市道青龍寺中橋線歩道設置工事 (青龍寺地内) 中止 (34,786,000円) 工期~10/17